

令和3年度 第1回中央区地域公共交通会議・交通戦略部会

日時：令和3年6月30日（水）14：30～16：30

場所：銀座ブロッサム中央会館 7階 集会室（マーガレット）

I. 議事

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - (1) 地域公共交通会議について
 - (2) 中央区総合交通計画の改定について
 - (3) 今後の進め方
4. 閉会

II. 出席者

次頁の出席者名簿 参照

III. 配付資料

令和3年度 第1回中央区地域公共交通会議・交通戦略部会 議事次第

- 資料1 : 中央区地域公共交通会議及び交通戦略部会について
- 資料2 : 中央区地域公共交通会議設置要綱
- 資料3 : 中央区地域公共交通会議・交通戦略部会構成員名簿
- 資料4 : 中央区総合交通計画（改定素案）
- 資料5 : スケジュール

参考資料1：中央区総合交通計画（現行計画）

参考資料2：新規事業・見直し事業について

出席者名簿（敬称略）

役職名	氏名	出欠	備考
国立大学法人東京海洋大学名誉教授	苦瀬 博仁	○	
国立大学法人宇都宮大学教授	大森 宣晔	○	
国土交通省関東運輸局東京運輸支局首席運輸企画専門官	小泉 伸介	○	
国土交通省東京国道事務所交通対策課長	大野 貴史	○	代理出席：特殊車両係長 松川 智子
東京都建設局第一建設事務所管理課長	塚原 輝浩	○	
警視庁交通部交通規制課長代理(交通規制担当)	御手洗 京介	○	
警視庁交通部交通規制課都市交通管理室長	椎名 啓雄	○	
警視庁中央警察署交通課長	矢嶋 亜紀子	○	
警視庁久松警察署交通課長	福田 正明	○	代理出席：交通課長代理 香山 晴之
警視庁築地警察署交通課長	竹内 紀	○	代理出席：交通課長代理 佐藤 美紀
警視庁月島警察署交通課長	権田 洋平	○	
東京都交通局自動車部計画課長（統括課長）	島崎 健一	○	
日立自動車交通株式会社バス事業部副部長	西窪 裕光	×	欠席
一般社団法人東京バス協会乗合業務部長	米澤 暁裕	○	
東京都交通運輸産業労働組合協議会幹事バス部会事務長（東京交通労働組合自動車部長）	佐藤 尚宣	○	
京橋地域町会連合会会長	鈴木 博道	○	
日本橋地域町会連合会会長	岩田 博	×	欠席
月島地域町会連合会会長	輿石 智宏	○	
中央区商店街連合会会長	柴川 賢	○	
中央区工業団体連合会会長	森山 照明	○	
一般社団法人中央区観光協会会長	古屋 勝彦	○	代理出席：株式会社松屋総務部コーポレートコミュニケーション課長 関 泰程
企画部長	浅沼 孝一郎	○	
総務部長	黒川 眞	○	
区民部長	濱田 徹	×	欠席
福祉保健部長	田中 智彦	○	
都市整備部長	松岡 広亮	○	
教育委員会事務局次長	生島 憲	○	
環境土木部長	望月 秀彦	○	
東京地下鉄株式会社鉄道本部鉄道統括部開発連携・工事調整担当課長	藤沼 愛	○	
東京都交通局電車部営業課長	竹内 宏幸	○	
一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務第一部長	小池 毅	○	
一般社団法人東京都トラック協会業務部長	中村 保芳	○	
国土交通省関東地方整備局建政部都市整備課長	大櫛 寛之	○	代理出席：建設専門官 松澤 義明
東京都都市整備局都市基盤部交通企画課長	鈴木 俊一	○	代理出席：交通施設調整担当課長 代理 稲橋 宏一郎
東京都都市整備局都市基盤部街路計画課長	高橋 栄二	○	
企画部副参事（計画・特命担当）	糟谷 直孝	○	
区民部商工観光課長	田部井 久	×	欠席
環境土木部副参事（交通安全対策・特命担当）	永田 直之	○	
環境土木部道路課長	落合 秀行	○	
都市整備部都市計画課長	川島 理恵子	○	
都市整備部地域整備課長	栗村 一彰	○	
都市整備部都市計画事業担当課長	水野 敬介	○	
環境土木部環境政策課長事務取扱参事	三留 一浩	○	

IV. 議事

1. 開会

- ・事務局挨拶

2. 挨拶

- ・会長挨拶
- ・部会長挨拶
- ・事務局挨拶

3. 議事

(1) 地域公共交通会議について

【事務局】

資料説明

(2) 中央区総合交通計画の改定について

【事務局】

資料4 計画編（1～2章）について説明

意見・質問①

【東京都トラック協会（中村業務部長）】

人流の実態については多数の分析がされている一方で、物流の実態について分析が少ないため、物流に関して意見を出すのが難しい。中央区内では荷捌きに課題がある。特に酒類は重く、長距離の横持ち配送が難しいため、配送先の近くに駐車する必要がある。その結果、配送業者が多額の駐車違反金を支払っているということを聞いている。まずは荷捌きの問題を把握するためのデータを分析し、安心して物資の配送ができるよう施策を検討してほしい。

【事務局】

人流については平成30年にパーソントリップ調査が実施されているため実態を把握しやすいが、物流については公開されているデータの年次が古く、実態に即したデータの分析をすることが難しい。今後、入手できるデータがあればその分析について検討したい。

【苦瀬会長】

人の交通とともに物の交通についても検討すべきである。検討の際、公共交通と私的な交通とのバランスをとることが難しいと思うが、事務局は是非いただいた意見を取り入れてほしい。

意見・質問②

【警視庁交通部交通規制課（椎名都市交通管理室長）】

中央区では路上駐車が問題となっている。都市部では、駐車場の附置義務によって乗用車駐車場が過剰に整備されてきた一方で、荷捌き駐車場が不足している。警視庁で区別の違法駐車デー

タを公開しているため、荷捌きに関する課題の把握に活用してほしい。

【事務局】

紹介いただいた警視庁のデータの活用について検討する。

意見・質問③

【警視庁交通部交通規制課（椎名都市交通管理室長）】

自転車走行空間の整備状況について、今回の改訂素案における表現では、整備がほとんど完了しているように見える。車道混在では走行空間が整っているとは言えないので、表現を工夫してほしい。

【事務局】

表現について検討する。

【事務局】

資料4 計画編（3～5章）及び戦略編について説明

意見・質問④

【東京都トラック協会（中村業務部長）】

人口の増加や人流の活発化は物流の増加を伴うはずだが、今回の改訂素案には、課題として物流に関する事項が明記されていない。

【事務局】

物流の課題は認識しているため、記載の方法については今後検討する。

【苦瀬会長】

中央区は物流の問題が大きい。総合交通計画に物流に関する課題が明記されていないと、計画を読んだ人は、物流に関しては課題がない、もしくは物流に関する施策は検討されないと捉えるのではないかと。中央区の課題に関する記述は、中央区の状況を俯瞰して再考すべきだと考える。

意見・質問⑤

【東京都交通運輸産業労働組合協議会幹事バス部会（佐藤事務長）】

増加する交通需要への対応のため、より一層の輸送力の確保が課題であると書かれている。この課題を解決するためには、既存の路線バス会社が総力を挙げることになると思うが、中央区はどのように関わるのか。

【事務局】

中央区内を走る路線バスの運行本数が多く、バス事業者には区に配慮していると認識している。既存の路線バスの本数を増やした場合、特にピーク時にはバスが数珠つなぎの状態になることが想定され、交通需要への対応を道路上の輸送にのみ頼ることには限界がある。現状

はバス事業者に頼らざるを得ない状況であるが、将来的には大量輸送機関である地下鉄の整備が必要であると考えている。

意見・質問⑥

【東京都交通運輸産業労働組合協議会幹事バス部会（佐藤事務長）】

公共交通不便地域への対応について、どのように考えているか。

【事務局】

江戸バスの運行について今年度に調査を実施するため、来年の地域公共交通会議の中で、本調査結果の報告を含め議題にしたいと考えている。

意見・質問⑦

【東京都交通運輸産業労働組合協議会幹事バス部会（佐藤事務長）】

コミュニティバスや路線バスは採算をとることに加えて乗務員の確保が難しく、今後より厳しい状況になると考えている。その2点についてうまく調整をしてほしい。

【事務局】

その点について認識している。要望として承った。

意見・質問⑧

【大森部会長】

物流や路上駐車に関する課題は、中央区の課題として明記した方がいいと思う。物流や路上駐車は、課題には明記されていない一方で、具体的な施策の中で扱われている。目標を達成するための手段として、物流や路上駐車への対応を含めた施策が位置付けられているのだと捉えた。課題・目標・施策の関係を今後整理する必要がある。

意見・質問⑨

【苦瀬会長】

中央区や世の中の状況を俯瞰的に見て、視点を加えなくていいのか。現行計画の策定時と現在とでは新型コロナウイルスの感染拡大やネット通販の普及等、状況が大きく変わっている。また、首都高日本橋区間の地下化や、中央区と成田空港・羽田空港のアクセス向上、築地市場跡地の計画、地下鉄新線の構想のような新しい動きが出てきている。このような内容を課題に反映しなくていいのか。また、中央区は隅田川に面していることで景観上有利であるが、そのような特性が計画に反映されていない。

(3) 今後の進め方

【事務局】

資料説明

意見・質問⑩

【月島地域町会連合会（奥石会長）】

中央区地域公共交通会議設置要綱の、会議設置の目的が旅客を中心に書かれているが、物流と大規模開発とその影響などを付け加えるといいのではないか。

【事務局】

意見として承った。

4. 閉会